

陸上自衛隊高等工科学校生徒採用試験

高等工科学校とは、将来、陸上自衛隊において高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信をもって対応できる自衛官となる者を養成するために、中学校卒業予定者などを対象に採用する制度です。

	推薦	一般	
募集人員	約60名(予定)	約260名(予定)	
資格	中卒(見込含む)17歳未満 ※推薦については、中学校長等の推薦等が別途必要です。		
受付期間	11月1日(日)～12月4日(金)	11月1日(日)～1月8日(金)	
試験期日	1月9日(土)～1月11日(月)までの指定する1日 ※試験場:神奈川県	(1次試験) 1月23日(土) 試験場:阿蘇市(阿蘇地域振興局)	(2次試験) 2月4日(日)～2月7日(水)までの指定する1日
試験種目	口述試験・筆記試験(作文含む)・身体検査	国・社・数・理・英(択一式)・作文(500字程度)	(1次合格者) 口述試験・身体検査
待遇等	※生徒手当 月額96,000円 ※期末手当 2回(6月・12月) ※週休2日制、祝日・年末年始休暇等		

※身分は特別職国家公務員(生徒)になりますので、自衛官ではありません。

問い合わせ 自衛隊阿蘇地域事務所 ☎22-4575

グラウンドゴルフ大会で「イキイキ長生き体操」



7月12日に波野の屋内ゲートボール場で開催された地区対抗グラウンドゴルフ大会の準備体操として、会員4名によるイキイキ長生き体操を行いました。

この体操は、大庭照子氏の音楽に合わせて、波野支部の会員が考案したストレッチ等の体操です。保育園や学童保育などでは子どもたちに人気の音楽に変えて体操を実施しています。大会の参加者の中には、腰や足が痛い方もおり、「体がほぐれた」「楽しかった」などの声も聞かれました。

また、生活習慣病予防や病気が悪化しないように意識を持ってもらうために、会員が病気になったときの体験談や食生活の注意点である、「塩分の摂りすぎ」、「食べ過ぎ」について話しました。

この大会に参加して、人との対話や身体を動かすことが健康づくりには大切だと感じました。会



員の活動は、食生活をとおしての活動に加えて、運動も必要であり、今後は、卓球大会などでも地域の方々とコミュニケーションをとりながら積極的に活動していきたいと思えます。

(波野支部長 岩下イツ子)

人権作文

家族や身近な人との関係を見つめ直し、
人権や差別について話し合う機会を持ちましょう。

弟に教えられたこと

阿蘇中学校2年 後藤壮輝まさき

僕には一つ上の姉と、二つ下の弟がいます。僕はある出来事で弟の見方が変わりました。

僕の弟の性格はなんでも雑で怒りっぽいです。ちなみに僕の性格はどちらかというとあまり怒らない方です。だから僕は弟とはよくケンカをしていました。ケンカの時、マジうざい、あいつなんであんなに雑なんだろう。きつと友達にもあんな感じなんだろうな、と思っていました。実際、僕が小学生の時も弟を見かけると友達とケンカをしていることが多くありました。だから僕は、やっぱり弟は友達から嫌われているんだろうな、と思っていました。

しかし、なぜか家にはよく弟の友達がきて、楽しそうに遊んでいました。僕は、なんでけんかばかりしているのにこんな友達と仲がいいんだろう、と不思議に思っていました。だけど、その理由がやっとわかりました。

ある出来事とは、僕が中学校一年生で弟が小学校五年生の時のことです。弟は僕と一緒に、サッカーをしています。ある日、久しぶりに弟の試合を見に行きました。弟たちのチームはまあまあ強いクラブチームでした。そして、この試合は県大会という大きな大会でした。相手チームもなかなか強くて前半でもう相手のペースでした。弟たちも、一生懸命パスをつないで、頑張っていたのですが、後半もあまり攻めることができず、弟たちのクラブチームは負けてしまいました。

ゲームが終わって、弟はとても悔しがって

いました。その様子を見て僕は、まあ、相手は強いチームだし仕方ないのかなと思いましたが。ふと目を弟からそらすと、少し離れた別の場所で、チームのキャプテンが涙を流して泣いていました。するとそこに、弟がかけよってキャプテンをなぐさめていました。僕はびっくりしました。普段、あんなに怒りっぽくて雑な弟が、友達をなぐさめていたということが意外だったからです。弟はコートを出ても、ずっとキャプテンの近くについて、ずっと話しかけていました。自分も悔しくて、さつきまで落ち込んでいたのにキャプテンを励ましていました。次第にキャプテンにも笑顔が戻り、最後にはチームメイトで楽しく遊んでいました。

その時僕は、弟がとても人気があることとその理由に気が付きました。弟はいつも、僕や友達とケンカをしているけど、本当は友達に優しく、仲間思いのいいやつなんだなと思えました。弟のそんな一面をそこで初めて知りました。

この一件から、弟のことを家で少し観察するようになりました。家での様子はいつもと変わりませんでした。しかし、そこから改めて思ったことは家で怒りっぽかったり、わがままだったりするのはありのままの自分ではないからだと思います。家以外の場所では周りに気を配ることのできる優しさも持っているのだと思いました。

僕は、弟なんて友達からは嫌われているんだろうなと思っていただけ、実際は違つというところを知りました。そんな弟に初めて教えられたことがあります。それは仲間を大切にすることです。僕はサッカーの試合などで負けた時には自分が落ち込んでしまつて

先生からのコメント

周りの人なんて見えていないことがよくあります。でも弟は自分も悔しくて落ち込んでいると思うのに自分のことよりも先に友達のことを考えて励ましていました。そのことを思うと自分も頑張らなきゃいけないという気持ちになりました。

いつもは雑で怒りっぽい弟だけど、僕も弟を見習って、友達を大切にして周りを見て行動ができるようになりたいと思いました。

この作文は、校内で人権作文に取り組んだ時に壮輝くんが書いてきたものです。「いつもの家族」と「いつもと違う家族」を思い出し、見つめなおすことにより、壮輝くんは弟さんの素敵な一面に気が付き、思いを記すことができました。このエピソードの中の弟さんのように、周りに心を配ることができると人は本当にすごいと思います。私は普段から人の気持ちを考えて行動したいとは思っていますが、自分のこととでいっばいっばいになると、なかなか周りへの気配りができずにイライラしてしまうことがあります。けれども、弟さんのそんな一面に気づいた壮輝くんもまた十分に、周りを見て行動できているのではないかと思います。壮輝くんがクラスメイトの様子をじっくりと見つめ、そつと助ける姿をよく見かけます。そんな自分の頑張りも認めて欲しいなと思います。これからも優しく温かい壮輝くんを応援します。